



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〔第三五一号〕

大暑たいしょ

七月二十二日

御師みしの絵画

今年は、伊勢神宮の御師制度が廃止されて150年の節目にあたり、さまざまな催事が行われています。その一つ、伊勢古市参宮街道資料館で開催中の「文化のつぼISE」御師の絵画」展を拝見しました。

伊勢神宮の神職である御師と絵画というのはこれまで結びつきませんでした。伊勢神宮の御師たちは四条円山派をはじめ、南画、浮世絵などの画法を学び、軸などに描いていたのです。

まず目についたのが、「天照御皇太神宮」と神さまの名を墨書した一幅のお軸でした。江戸時代前期の天和年間（1681〜84）、外宮権禰宜ごんねぎの度会（出口）延佳のぶよしが書いた御神号です。延佳は、神典や和歌に通じ、外宮に豊宮崎文庫とよみやまきぶんこを創設しました。それまで外宮には書籍などを収めた「神庫」という建物がありましたが、禰宜以下の者には利用が許されていなかったため、神職の子弟にも広くも利用できる修学道場として、図書館と学問所の性格を合わせもった文庫の創設を呼びかけたのです。その人物が書いた外宮ではなく、内宮のご祭神の御神号。天照大御神への敬いに触れたように思いました。

そして、江戸時代後期の外宮御師、上部菟齋うわべさつきいの描いた「達磨図」「山ざくら図」、小俣蠅庵こまへあんのどことなくユーモラスな獅子頭の「獅子舞図」など、展示の絵などを見ていると、それぞれの御師の存在が身近に感じられました。

そして、御師の廃止後に描かれた絵もありました。大正から昭和の時代、久志本博石の「伊勢参宮道者之図」です。菅笠をかぶり、わらじを履いたお伊勢参りの人々の姿が描かれ、御師が廃止された後も代々伊勢参宮の人々をもてなしてきた家柄いへがうかがえました。お伊勢参りを支えた御師が描いた「御師の絵画」展は、8月1日まで開かれています。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○『おかげ横丁 夏の工作教室』

伊勢路には歴史の中で生まれ、普段の暮らしに溶け込んだ工芸品が数多く残っています。旅の思い出やお土産に、今に受け継ぐ職人さんたちに教わりながら、ものづくり体験をお楽しみください。

と き／7月22日(木・祝)～8月9日(月・祝) 10:00～16:00 ※体験内容で異なります。

ところ／「孫の屋三太」前 特設会場、季節屋台、かみしばい広場、
「神路屋」2階 ※体験内容で異なります。

内 容／

さるはじきづくり・・・600円 7月22日(木・祝)、8月5日(木)

松阪もめん・・・機織り体験(コースター)600円 7月23日(金・祝)、8月3日(火)

藍染・・・ハンカチ染め600円 7月24日(土)、8月4日(水)、8日(日)

擬革紙・・・御朱印帳2,500円 7月24日(土)、25日(日)

宮師に教わるミニ神棚づくり・・・3,300円 7月26日(月)

伊賀くみひも・・・くみひも体験1,100円 7月27日(火)、28日(水)

陶芸・・・手びねり体験1,300円 7月29日(木)

伊勢根付・・・①ペンダントトップ800円 ②ストラップ800円 7月30日(金)、31日(土)

木工細工・・・①箸500円 ②皿700円 8月1日(日)、2日(月)

山田傘・・・ミニ和傘の絵付け1,000円 7月31日(土)、8月1日(日)

伊勢一刀彫・・・①だるまのキーホルダー絵付け1,900円 ②積み木1,000円 8月3日(火)

伊勢型しおりづくり・・・1,100円 8月5日(木)

伊勢一刀彫・・・招き猫800円 8月6日(金)、7日(土)

尾鷲ひのき・・・①カスターネット1,870円 ②いろんな木でネックレス1,100円
③カトラリー2,750円 ④カリンバ3,800円 8月4日(水)、6日(金)、9日(月・祝)

おかげ犬の起き上がりこぼしづくり・・・700円 8月7日(土)～9日(月・祝)

三重の木綿 香袋づくり・・・950円 8月2日(月)

那智黒石・・・①箸置き磨き800円 ②箸置き磨き(名入れ千支箸付き)1,500円
8月7日(土)～9日(月・祝)

絵付け・・・①風鈴1,220円 ②うちわ500円 7月26日(月)～30日(金)、8月2日(月)～6日(金)

五十鈴塾

○『木の建築とその実際』

昨今、公共建築も含めて木の建築が見直されてきました。身近な自然の恵みを用いて、私たちが必要なものを作り出すという、日本人としての自然観が、その背景になっているからかも知れません。木の建築は、我が国にとって長い年月をかけて培われてきました。その意味では、自然をどのように生かすべきかを模索してきた歴史でもあり、その中で蓄えられた知恵の賜ものでもあります。木を材木屋さんから調達して作ることが一般的でしたが、山に生えている木を直接見て選別し、それを伐り倒して木取りをし、建築材として整えて建築を作るという、本来の木造建築に戻った作り方も増えてきました。そのためには木の素性を知り、長い年月をかけて育った木の命を、建築に移し替えることが求められます。そのようにして作る建築の実際をご紹介します。

と き／8月4日(水) 13:30～15:00

講 師／前田 伸治 (一級建築士)

参加費／一般 1,650円 会員 1,150円

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる可能性があります。

五十鈴茶屋

○『節気菓子』

ご ざ しらはま
御座の白浜

御座の白浜は、伊勢志摩で随一の海水浴場。夏になると、海岸はたくさんの人々で賑わいます。白桃の羊羹に、ペパーミント風味の錦玉を重ね白浜を表現しました。

あきがお
朝顔

夜明けから咲きはじめ、次々と花を開かせる夏の風物詩。白餡をうしろで包み、しっとりと露を置く、朝顔の姿に仕上げました。

あらいそ
荒磯

紺碧の海から、岩場に激しく打ち付ける波しぶきが舞い散る様子を、羊羹に特産の「あおきのり」を練り込み表現しました。伊勢志摩の磯の風味をご賞味くださいませ。